

## 埼玉県保健衛生県知事表彰を受賞して

JA 埼玉県厚生連 熊谷総合病院  
角田 喜彦

このたび、平成 27 年 11 月 14 日、さいたま文化ホールにて「県民の日記念式典」が開催され、埼玉県保健衛生知事表彰を受賞させていただきました。この名誉ある表彰を受賞するに当たり、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の役員・会員の皆さま、そして職場の皆さま、関係各位に深く感謝申し上げます。田中会長より、電話で推薦のご連絡を受けた時には晴天の霹靂であり、歴代の受賞者の皆さまの実績には足元にも及ばない者でその重みを痛感しております。また小島表彰委員よりお祝いのお言葉を頂き、大変恐縮しております。

昭和から平成へ代わる時代に技師生活をスタートさせ、25 歳から第四地区役員として技師会に関わるようになりました。地区の役員として 12 年間、平成 13 年から 2 年間編集理事を、平成 15 年から 2 年間地区理事として 4 年間を務めさせていただきました。学会実行委員や編集委員などを大変貴重な経験させていただき、多くの方々にご指導いただきました。この経験を通じ、多くの方々に巡り逢えたことは私にとって大きな財産であります。

院内では、平成 21 年から技師職を離れ事務管理職を 3 年間経験し、病院経営や施設管理などの病院全体を把握することの重要性を実感致しました。新病院建築に伴う設備環境設計や院内の医療システム設計・医療機器導入に関わり、院内システム担当として病院長より委嘱され 365 日 24 時間 PHS を携帯し、マルチ技師として日夜勤務しているところです。

これからも巡り逢えた全ての方々と一緒に、愛され必要とされる技師を目指しチーム医療の発展に努力する所存であります。技師会員の皆さまには今後ともご指導、ご鞭撻をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会のますますのご発展と会員皆さまのご活躍、ご健勝を祈念申し上げます。



## 寄付金の報告

ありがとうございました。

新井俊吉氏より20万円の寄付がありました。本会の運営のために有効に活用させていただきます。

## 平成 27 年度 MRI 基礎講習会の開催報告

埼玉県診療放射線技師会  
学術理事 栗田 幸喜

「専門技術者認定試験から学ぶ MRI の基本知識」として、11 月 8 日（日）、さいたま赤十字病院の 4F 成人病センターで平成 27 年度 MRI 基礎講習会を行った。参加者数は 17 人であった。受講者ならびに講師、協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

### プログラム

12:30 ~	受付		
13:00 ~ 13:20	問題 I 模擬試験「撮像技術・MRS・心臓」		
13:20 ~ 14:20	問題 I 解説	済生会川口総合病院	丸 武史
14:30 ~ 14:50	問題 II 模擬試験「高磁場・パラレル・EPI」		
14:50 ~ 15:50	問題 II 解説	埼玉医科大学病院	近藤 敦之
16:00 ~ 16:20	問題 III 模擬試験「第 10 回試験問題」		
16:20 ~ 17:20	問題 III 解説	独協医科大学越谷病院	宿谷 俊郎
17:20 ~	質疑応答		

済生会栗橋病院  
渡邊城大

今回は、過去に行われた磁気共鳴専門技術者認定試験問題（MR 認定試験）から、撮像技術、MRS、心臓、高磁場、パラレル、EPI と難易度のある問題を抜粋し模擬問題を作成、解説を含めて“試験対策とその基礎知識”を中心にセミナーを企画した。一つのセクションを各自 20 分で解答、その後約 60 分で関連事項含む解答と解説を行った。問題 I として、済生会川口総合病院の丸先生が日常使用している撮像技術、今回初めて問題に取り入れた MRS および心臓検査について、17 題の問題を解説した。次に問題 II として、埼玉医科大学病院の近藤先生が担当した。1.5T と 3T の違い、パラレルイメージングの特徴、拡散強調画像関係の単位やアーチファクトについて 22 題を解説した。拡散強調画像は出題頻度が高い上に、理解が困難であるが参考になったと思われる。最後に問題 III として、第 10 回 MR 認定試験の中から基礎的な部分を抜粋し、22 題を獨協医科大学越谷病院の宿谷先生が担当した。例年通り、MR 信号・磁気緩和・アーチファクト・シーケンス・計算問題など、内容は多岐に及んでいた。解答を決めなければならない、正解を導くのに苦慮する部分もあったが、そのあたりの難解な問題の解釈も含めて説明し、試験対策として好評であった。また前回と同様に埼玉県のみでなく近県の施設から多くの方々が参加していた。資料は、後日見直すことができるように分かりやすく配慮し、作成したつもりである。今回の範囲は年々出題される問題が多くなっており、必ずといっていいほど同様の問題が散見されるため受験される方は復習しておくことを勧める。この基礎講習会で行っていない範囲として臨床関係が挙げられる。受講者の意見も考慮し、必要であれば今後も継続していきたいと思う。ご参加していただいた方、模範解答を考えていただいた SMC のメンバーの方、そして当日手伝いをしていただいた大森先生、岡田先生に感謝致します。

## 平成 27 年度 第 14 回胸部認定講習会報告

学術委員会  
滝口 泰徳

平成 27 年 12 月 6 日（日）に、第 14 回胸部認定講習会が開催された。

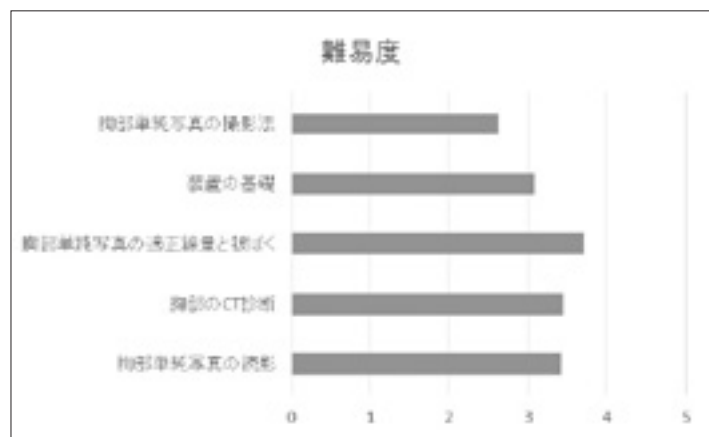
講習会参加人数は、会員 26 人、非会員 2 人の 28 人であった。初回参加者は 26 人で、初参加の方がほとんどであった。また他県からの参加もあり胸部単純写真の重要性を実感した。

内容と講師は以下の通り。

・胸部単純写真の撮影法	上尾中央総合病院	滝口 泰徳
・装置の基礎	株式会社島津製作所	清水 達也
・胸部単純写真の適正線量と被ばく	済生会川口総合病院	土田 拓治
・胸部の CT 診断	羽生総合病院	染野 智弘
・胸部単純写真の読影	上尾中央総合病院	佐々木 健

受講後のアンケート結果では、基礎的な内容の多い「胸部単純写真の撮影法」や「装置の基礎」に関する理解度は高く、物理評価や臨床応用、読影、CT に関しては難易度が高いと回答する受講者が多くいた。

今回、新たに追加した講義である「胸部単純写真の適正線量と被ばく」は、デジタル画像の成り立ちから受像機の違いによる撮影条件の設定、観察デバイスの



基礎など、デジタル時代の適正線量決定に非常に有益な内容であった。また受講者の評価としては最も難易度が高かったが、受講者が自施設で装置の特徴を考慮した撮影条件の設定を行うきっかけとなることを願う。来年度も受講者の満足度が高い講習会内容を考え、興味がある方の多くの参加を期待する。

## 公益社団法人日本診療放射線技師会 「業務拡大に伴う統一講習会」 ～静脈注射講習会既修了者対象～ 北関東地域（埼玉県）開催報告

学術理事  
城處 洋輔

平成 27 年 10 月 11 日（日）、12 日（祝）に日本診療放射線技師会が主催とする業務拡大に伴う統一講習会がさいたま赤十字病院にて開催され、他県からの参加者も合わせ 36 人が 2 日間にわたり受講された。講習に先立ち、日本診療放射線技師会副会長 小川清氏より法改正から本講習会の意義について解説していただき講習会が開始された。講義および実習を通じ業務拡大に伴う必要な知識、技能を習得またはそのきっかけとなったことと思われる。受講生の皆さま、また実習を担当された講師、会場スタッフの皆さまにはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

### プログラム

平成 27 年 10 月 11 日（日）

13：20～13：30	10	開講式・オリエンテーション
13：30～14：20	50	講義（DVD 放映）法改正
14：20～15：10	50	講義（DVD 放映）IGRT
15：20～16：10	50	講義（DVD 放映）IGRT
16：10～17：00	50	講義（DVD 放映）IGRT



平成 27 年 10 月 12 日（月・祝）

8：50～9：00	10	オリエンテーション
9：00～9：50	50	講義（DVD 放映）下部消化管
9：50～10：40	50	講義（DVD 放映）下部消化管
10：50～11：40	50	講義（DVD 放映）下部消化管
11：40～12：30	50	講義（DVD 放映）下部消化管
13：20～14：10	50	実習・演習 下部消化管
14：20～15：10	50	実習・演習 IGRT
15：20～16：20	60	実習・演習 BLS
16：30～17：20	50	試験説明および確認試験
17：20～17：40	20	解答用紙回収、確認作業
17：40～17：50	10	閉講式



実習指導者（敬称略）

大森 正司	さいたま赤十字病院
石田 直之	埼玉医科大学総合医療センター
佐々木 健	上尾中央総合病院
八木沢 英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター



## 公益社団法人日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎技術講習 「一般撮影」北関東地域（埼玉県）開催報告

学術理事  
城處 洋輔

平成 27 年 10 月 25 日（日）に、日本診療放射線技師会が主催する診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」が済生会川口総合病院にて開催され、26 人の参加者が休日にもかかわらず熱心に受講されていた。

講習の内容としては日本診療放射線技師会の教育目標に沿って、装置の基礎的な内容から部位ごとの臨床技術、検査における注意点や検像まで網羅され包括的に学習することができた。

受講生の皆さま、また当日講義を担当された講師、会場スタッフの皆さまにはこの場をお借りしてお礼申し上げます。



済生会川口総合病院 東館講堂にて

### プログラム（敬称略）

9：30～10：15	診断用 X 線装置・画像処理装置	大塩 和美	東芝メディカルシステムズ（株）
10：30～11：15	泌尿器・生殖器系（造影を含む）	結城 朋子	済生会川口総合病院
11：15～12：00	注意点および検像	尾形 智幸	さいたま赤十字病院
12：45～13：15	歯科・顎骨・口腔	鈴木 正二	防衛医科大学校病院
13：30～14：15	頭頸部・甲状腺	小池 正行	防衛医科大学校病院
14：15～15：15	脊柱・関節・上下肢・軟部	小池 正行	防衛医科大学校病院
15：30～16：15	胸部・ポータブル撮影	富田 博信	済生会川口総合病院
16：15～17：00	腹部・骨盤	富田 博信	済生会川口総合病院
17：15～17：45	確認試験		